



# 二足歩行骨恐竜ロボット(2008) SUPERザウルス君とは

## 開発コンセプト

「SUPERザウルス君」とは、テレビでお馴染みの高専ロボットコンテスト2008「生命大進化(競技課題)」で製作された二足歩行ロボットです。このロボットは「恐竜の化石」をイメージし、化石からの蘇生した骨恐竜が、人間のように言葉を話したり、食事することによって、生命進化の過程を表現します。恐竜のような力強い歩行と可愛らしいおしゃべりができることから、親しみを込めて「SUPERザウルス君」と名付けられました。



## ロボットの機能

【多足歩行ロボット】多足歩行ロボットは巨大恐竜の化石の背骨とあばら骨をイメージしています。その表面には、アンモナイトやカブトガニの化石が装飾されています。歩行方法は、扇形の足先をヘッケンリンクによって動作させ、多足歩行(24足)を行います。このロボットの内部には、二足歩行ロボットを格納されています。

【二足歩行ロボット】二足歩行ロボットは、幅90cm×奥行き110cm×高さ130cm、重量15.5kgです。全身に9カ所の関節があり、サーボモータにより人間の関節のような動きを再現し二足歩行を実現しました。頭蓋骨はティラノサウルスの骨格模型を参考にして、リアルさを追求しています。目は64個のLED(発光ダイオード)で構成され、まばたきをさせています。さらに、スピーカーからの音声と口の開閉動作を合わせて、おしゃべりを表現が可能です。



多足歩行ロボット



二足歩行ロボット  
SUPERザウルス君



ザウルス君の嫌いな食べ物”カブトガニ”です。材料は、食器洗いの白いスポンジです。リアルなカブトガニを追求するため、様々な茶色でカラーリングしました。



## 変身パフォーマンス

多足歩行ロボットの巨大なあばら骨の中から、ザウルス君が傾斜板の上を勢い良く滑り降りてきます。ザウルス君は、おしゃべり機能とサーボモータによる関節動作を利用して、自己紹介やお食事タイムなど、操縦者とコミュニケーションをとりながら、楽しいパフォーマンスを披露します。



多足歩行ロボットの中から二足行ロボットが滑り降ります。

## 全国大会招待試合に参加

ロボコン2008関東甲信越地区大会では技術賞に入賞、全国大会では招待試合に出場しました。対戦相手は都城高専の巨大キリンロボット、この試合の中でザウルス君は自己紹介とカブトガニを食べるパフォーマンスを披露しました。3分間の1試合のために、エサのカブトガニの他に巨大な骨と恐竜飼育用の巨大フォークを製作、さらに恐竜飼育員さんの作業着を準備しました。カブトガニをザウルス君に食べさせると「カブトガニ、まずう〜い」の発声に、会場内は大きな笑い声で包まれました。



巨大な骨とフォーク



招待試合でのパフォーマンス